

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 国語】

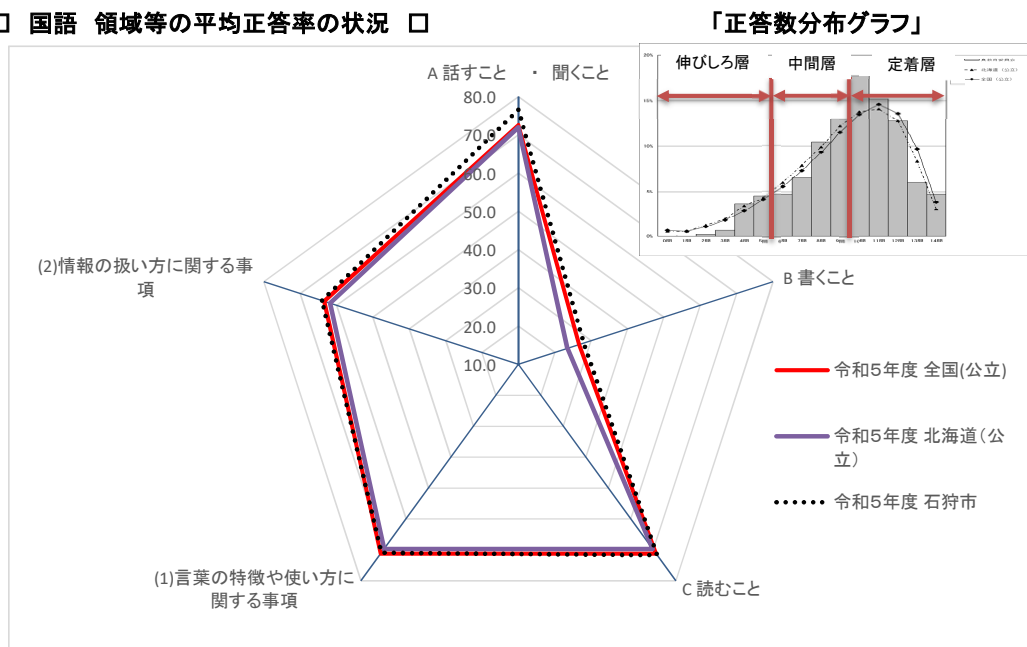
## □ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.4問/14問	67.2%
全道(公立)	9.2問/14問	65.8%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				○					
全国 : ☆				☆					

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

## □ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



## □ 国語科の概要 □

- ◇ 国語の正答率は全国・全道平均との比較では、ともにほぼ同様（上位）の結果でした。令和4年度との比較では、正答率を伸ばし、全国平均を上回りました。
- ◇ 領域別では、「話すこと・聞くこと」は全道・全国よりやや高い結果でした。「書くこと」は全道よりやや高く、全国とほぼ同様（上位）であり、「読むこと」は全道とほぼ同様（上位）全国と同様の結果でした。また、「言葉の特徴や使い方にに関する事項」と「情報の扱いに関する事項」では、全道とほぼ同様（上位）、全国と同様の結果でした。
- ◇ 問題形式別の正答率では、「選択式」は全道・全国と同様の結果でした。「短答式」は全道よりやや高く、全国とほぼ同様（上位）の結果でした。また、「記述式」は全道より相当高く、全国より高い結果になりました。

## 国語

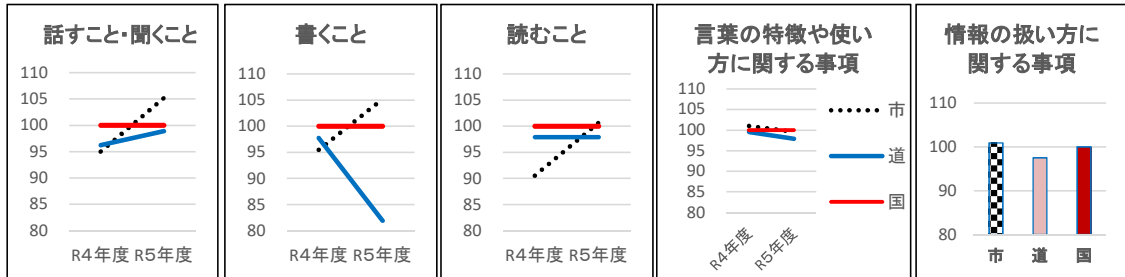
### ○調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕，〔思考力，判断力，表現力等〕の内容に基づき，全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお，小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- 学校ボランティアの人たちにインタビューをして分かったことをまとめて書く。
- グラフを用いて，学校の米作りの問題点と解決方法について書く。
- 資料を読み，運動と食事について分かったことを基に，自分ができそうなことをまとめて書く。
- 資料の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する。
- 設問数は14問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回の調査との比較（但し，情報の扱い方に関する事項は本年度のみ）



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は，全道・全国より高い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は，全道より相当高く，全国より高い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は，全道とほぼ同様（上位），全国と同様の傾向を示しています。
- ・「言葉の特徴や使い方にに関する事項」は，全道とほぼ同様（上位），全国と同様の傾向を示しています。
- ・「情報の扱い方に関する事項」は，全道とほぼ同様（上位），全国と同様の傾向を示しています。

### 【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1三 (2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを，送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する（くらべて）	送り仮名に注意して，漢字を文の中で正しく使うかどうかをみる	言葉の特徴や使い方にに関する事項	90.8%	92.7%	92.1%
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して，中心となる話や文を見つけて要約することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	90.4%	88.9%	90.0%
3二	時田さんと山本さんが，どのような思いでボランティアを続けているのかについて，分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方にに関する事項	83.7%	70.2%	70.2%

### 【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	書くこと	28.0%	23.5%	26.7%
1三 (1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを，漢字を使って書き直す（いがい）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方にに関する事項	54.8%	51.6%	52.8%
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方にに関する事項	55.9%	55.7%	57.6%

**【指導の改善にあたって】**

<p><b>【問題番号1二 書くこと】</b></p> <p>○ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを分かりやすく伝えるためには、図表やグラフなどを用いて、書き表し方を工夫することが大切です。必要に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになることを実感できるように指導すると効果的です。</li> </ul> <p><b>【問題番号1三（1）ア 言葉の特徴や使い方に関する事項】</b></p> <p>○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使えるよう指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いがい」の「がい」を「外」として文の中で正しく使うことはできていますが、「意」を文の中で正しく使うことができていないと考えられます。同じ読み方をする「以」と解答している児童が見られたことから、同音異義語に注意して書くことに課題があると考えられます。</li> </ul> <p>○ 同じ読み方をする漢字を注意して使うことができるよう指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を書くことについては、当該学年の前の学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うように指導することが重要です。</li> </ul> <p><b>【問題番号3三 言葉の特徴や使い方に関する事項】</b></p> <p>○ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが大切です。話したり聞いたりする活動を通して、敬語の使い方について理解できるようにしたり、学校行事や来客があったときに敬語の使い方を確認したりするなどして指導すると効果的です。</li> </ul>
--

**【教科（国語）に関する意識（児童質問紙項目43～46、国1より）】**

(43)	「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の62.1%、全国の61.5%に対して石狩市は61.8%で、全道より0.3ポイント低く、全国より0.3ポイント高くなっています。
(44)	「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の95.2%、全国の94.2%に対して石狩市は96.6%で、全道より1.4ポイント、全国より2.4ポイント高くなっています。
(45)	「国語の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の86.0%、全国の85.7%に対して石狩市は87.9%で、全道より1.9ポイント、全国より2.2ポイント高くなっています。
(46)	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の93.4%、全国の92.8%に対して石狩市は95.1%で、全道より1.7ポイント、全国より2.3ポイント高くなっています。
(国1)	「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道の81.3%・全国の80.7%に対して石狩市は93.4%で全道より12.1ポイント、全国より12.7ポイント高くなっています。関連して、3問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の10.4%、全国の10.0%に対して石狩市は3.0%で、全道より7.4ポイント、全国より7.0ポイント低くなっています。

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

### 【小学校 算数】

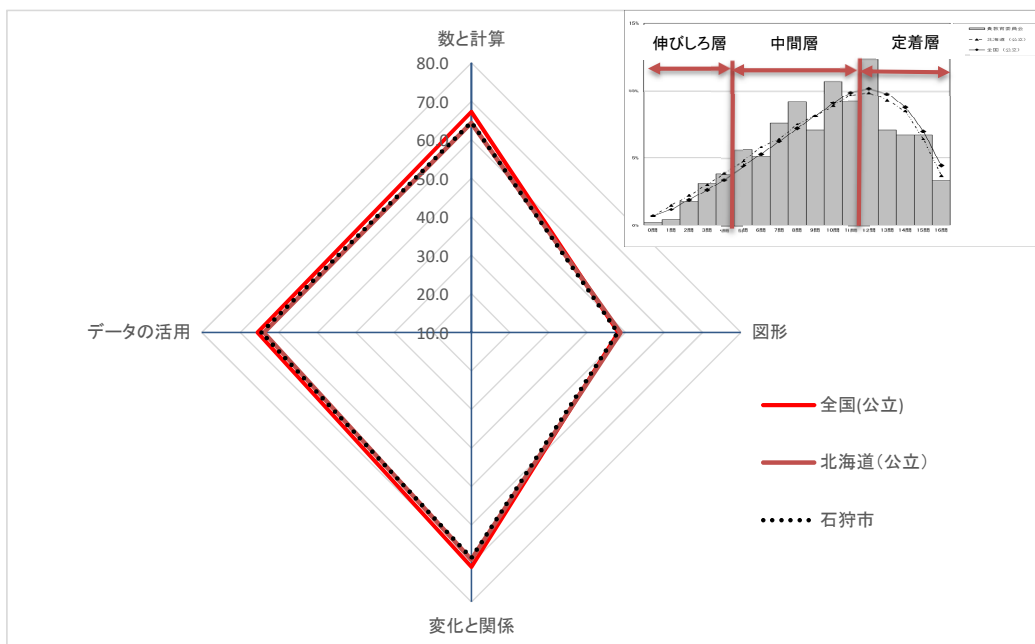
#### □ 正答率の状況 □

	算数	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	10.0問/16問	62.5%
全道(公立)	9.8問/16問	61.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				★	○				
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

#### □ 算数 領域等の平均正答率の状況 □



#### □ 算数科の概要 □

- ◇算数の平均正答率は、全道と同様、全国とほぼ同様（下位）の結果でした。令和4年度との比較では、全国との差が縮まりました。
- ◇領域別では、「数と計算」では全道と同様で全国とほぼ同様（下位）、「図形」では全道・全国と同様の結果でした。また、「変化と関係」と「データの活用」では、ともに全道と同様で全国とほぼ同様（下位）の結果でした。
- ◇問題形式の正答率では、「選択式」で全道・全国とほぼ同様（下位）、「短答式」は全道とほぼ同様（上位）、全国と同様の結果でした。また、「記述式」は全道とほぼ同様（下位）、全国よりやや低い結果でした。

## 算数

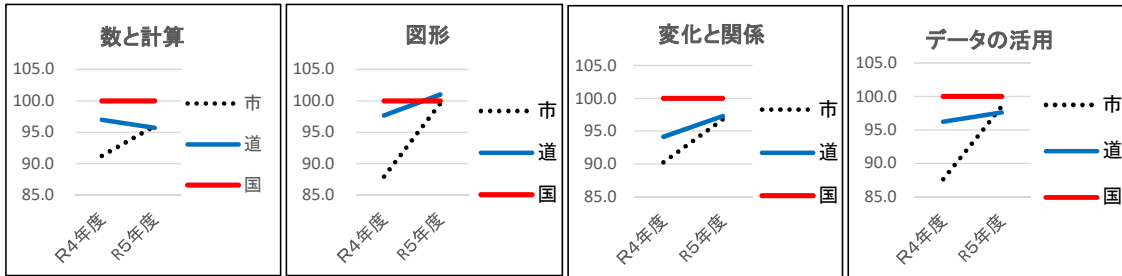
### ○調査問題の内容

学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- 3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する。
- 切って開いた三角形を正三角形にするために、開く前の三角形の角の大きさを書く。
- 椅子の数が2倍になっても、椅子を重ねた高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く。
- 二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く。
- 設問数は16問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回の調査との比較（但し、測定は本年度の出題なし）



- ・「数と計算」の領域は、全道と同様で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は、全道・全国と同様の傾向にあります。
- ・「変化と関係」の領域は、全道と同様で、全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「データの活用」の領域は、全道と同様で、全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

### 【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる	変化と関係	94.9%	92.5%	93.5%
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる	変化と関係	90.8%	87.7%	88.5%
2 (2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	図形	89.1%	86.9%	87.2%

### 【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 (4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	図形	19.4%	25.5%	20.8%
2 (3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	図形	21.2%	21.7%	21.9%

4 (1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる	変化と関係	39.7%	45.1%	46.0%
1 (3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	変化と関係	49.1%	50.8%	55.5%

### 【指導の改善にあたって】

<p><b>【問題番号2 (3), (4) 図形】</b></p> <p>○ 目的の図形をつくるための操作の見通しを立てることができるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てることができるようにすることが大切です。</li> </ul> <p>○ 底辺と高さの関係に着目し、図形の面積の求め方から面積の大きさを判断できるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の面積を求めるために必要な底辺と高さの関係に着目し、三角形の底辺や高さとの面積の関係を基に面積の大きさを判断できるようにすることが重要です。その際、平行な直線にはさまれた底辺が等しい、二つの平行四辺形や、二つの三角形の面積を比べることで、底辺と高さの関係について理解できるようにすることが大切です。</li> </ul> <p><b>【問題番号1 (3), 4 (1) 変化と関係】</b></p> <p>○ 伴って変わる二つの数量について、変化の規則性を基に筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることができるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伴って変わる二つの数量について、比例の関係にあることを用いて、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることができるようにすることが重要です。</li> </ul> <p>○ 百分率で表された割合について理解できるようにする指導の充実を図ることが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の場面において百分率で表された割合について、具体的な数量の関係に基づいて理解できるようにすることが重要です。</li> </ul>
--

### 【教科(算数)に関する意識(児童質問紙項目51~54, 算1より)】

(51)	「算数の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の58.5%、全国の61.4%に対して石狩市は、64.9%で、全道より6.4ポイント、全国より3.5ポイント高くなっています。
(52)	「算数の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の94.4%、全国の94.2%に対して石狩市は96.4%で、全道より2.0ポイント、全国より2.2ポイント高くなっています。
(53)	「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の79.2%、全国の81.2%に対して石狩市は84.6%で、全道より5.4ポイント、全国より3.4ポイント高くなっています。
(54)	「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の93.6%、全国の93.3%に対して石狩市は95.1%で、全道より1.5ポイント、全国より1.8ポイント高くなっています。
(算1)	「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道の80.0%、全国の80.3%に対して石狩市は90.5%で、全道より10.5ポイント、全国より10.2ポイント高くなっています。関連して、4問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の7.0%、全国の6.3%に対して石狩市は1.8%で、全道より5.2ポイント、全国より4.5ポイント低い結果でした。